

## 第3次那珂川町総合振興計画（案）に対するパブリックコメント結果

■意見募集期間 令和7年12月15日（月）～令和8年1月9日（金）

■意見数 2件

■意見の提出方法 郵便（0）、ファクシミリ（0）、電子メール（1）、書面（1）

■意見の概要と町の考え方

No.	意見の概要	町の考え方
1	<p><b>【総論・基本構想について】</b></p> <p>P.9</p> <p>・1次産業の割合が他と比較して高い事は差別化の土台が既にあると言える明確な強みで、それを活かして重点PJにある稼げる産業化(プランディング等?)を進めてほしい。</p> <p>ふるさと納税の対応も最初は大変だったと思う。そのノウハウを転用するなどして販路強化ができればと思った。</p>	<p>・重点プロジェクトのとおり、その達成に向けて進めてまいります。</p> <p>ふるさと納税につきましては、返礼品のPR等を引き続き進め、販路の拡大や地域資源の有効活用・発展に向け検討してまいります。</p>
2	<p><b>【前期基本計画について】</b></p> <p>P.5</p> <p>・道交法の改定が行われ自転車の歩道通行が原則禁止される。これに合わせてか大型車の通行もある車道にレーン区分も無い状態で青矢印だけが描かれた道が見られるが、これは逆に危険に感じる。歩行者が極端に多い場所でなければ歩道を自転車通行可にする方が安全かと考える。</p>	<p>・自転車においては、車道通行が原則となっていますが、状況により、歩道を通行できる場合もありますので、交通管理者や道路管理者との調整など、安全な通行が確保できるよう努めてまいります。</p>
3	<p>P.7</p> <p>・那珂川町地域農業経営基盤強化促進計画などで農地を太陽光発電施設に転用する話が進んでいるが、一度慎重になってほしい。別項の自然環境・景観の保全とも相容れないと私は思う。逆に環境に悪く国策で奨めるべきでない論調も出来つつある昨今、せめて(いつまで続くかも不明な)補助金前提の農地転用計画には歯止めが必要と考える。</p>	<p>・自然環境・景観に配慮する視点に加え、農地を守る、地球温暖化対策、土地の利活用等の様々な視点から検討する必要があると考えます。そのバランスや町の情勢等を鑑み、本計画や個別計画の見直しの際の参考とさせていただきます。</p>

4	<p>P. 19</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を考えれば高齢者層以外にも参加を促してほしい良い事業だと思った。健康ポイント事業に参加してみたが、一部を除き高齢者向けの印象は強かった。前期はその印象もあり敬遠していた。いっそ軌道に乗るまでは 20 才以下は最初から+2、40 才以下は+1 ポイント付与などで「あなた達もこの事業の対象ですよ参加してね」とアピールしては。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加率が低い世代においても、参加したいと思っていただける町民が増加するよう、事業実施の際の参考とさせていただきます。</li> </ul>
5	<p>P. 22</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て環境の充実を最前面に押し出しているが、未婚人口の多さを考えるとまずは結婚への導線をより充実させる方が良いのではないか。</li> <li>第二子以降の奨励や、町外から呼ぶことで子育て人口を増やすには非常に効果的だと思う。その場合はターゲット層への広報活動とセットで効率的に資源を使ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚相談所事業や各種支援事業を含め、結婚や若い世代の移住・定住の促進と、安心して子育てしやすい環境の充実を目指し、事業実施の際の参考とさせていただきます。</li> </ul>
6	<p>P. 23</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚支援センターのサービスは良かったが、入会時の独身証明の提出は利用開始までの心理的障壁になっていた。身分証明にマイナンバーが使えるのだから書類提出をワンストップで行えると参加障壁が一つ無くなるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎ結婚支援センターは外郭団体となりますので、ご意見として共有させていただきます。</li> </ul>
7	<p>P. 35</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4 年とデータが古いですが新卒就農率は農業高校で 3%、大学農学部等で 4% です。入学時から将来を決めている学生は少ないのは当然と思います。ですが折角農業に興味を持つ機会が多い環境にいる人たちが敢えて就農を選ばない状況に重点的に手を付けないのは勿体ないと考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係機関と連携して、新規就農者及び後継者の掘り起こしについて推進してまいります。</li> </ul>

8	<p>P. 38</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どこから始めれば良いか、などの起業相談ができる機会があると良いと思う。余談ですが、以前調べた際に町HPのリンク(下部セミナー部分3箇所)が切れておりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携した「創業支援事業」や、相談機会の充実を図ってまいります。</li> </ul> <p>※ホームページにつきましては、修正させていただきました。</p>
9	<p>P. 61</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>KPIに女性の割合を定めているが、必要なのは機会の平等であり結果の平等ではないと考える。重要なのは適材適所(能力や特性を考慮した配置)だが、敢えて数値目標を出すならば立候補者の男女割合などではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町審議会等の各種組織において活躍する女性の割合を増加させることで、男女があらゆる分野で対等に参画することができるよう、委員に占める女性の割合を増加させる成果指標といたしました。</li> </ul>
10	<p>P. 61</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生に逆行する流れが生まれたのは、共生を推し進める側が相手の文化を無理解なまま人を受け入れた結果だと私は思います。自分と相手の文化を理解して、それに合わせてルールや対応も(弱腰ではなく)柔軟に決めて、まずは町民主体の公共の福祉を重視した政策をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生のための社会環境や受け入れ体制の整備を進めるとともに、啓発等を促進してまいります。</li> </ul>
11	<p>P. 63</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栃木県の中で見ても、自治体の規模(人口 0.7%面積 3%)に対し R5 寄付額 0.23%件数 0.11%と伸び代があると思うので厳しい世界ではあるものの頑張ってほしい。</li> <li>一方で、ふるさと納税は既に加熱し過ぎているように思う。外からの資金獲得の戦いという考え方自体は引き続き、次の戦場を探すのも一つの戦略ではないかとも思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き返礼品の取扱件数や内容の充実を図り、納税件数の増加を図ってまいります。</li> <li>また、新たな財源確保の方法について、調査・研究してまいります。</li> </ul>

12	<p><b>【全体について】</b></p> <p>・利便性の向上においては、首都圏の方が強みがあると思います。不自由さや不便さがあってこそ、那珂川町なのだと思います。その中にも、もっと素晴らしいものを町民それが感じているからこそ、この町で生きているのだと思います。</p>	<p>・今後の施策展開におきましては、総論・基本構想の「活かすべき強み」で掲げました各資源や環境等をうまく活用しつつ、変化し続ける社会情勢の変化に対応しながら、町民ニーズに寄り添った町独自の強みや魅力をさらに強化・発掘していきたいと考えております。</p>
----	---	--

■意見により案を修正した内容

修正した内容はありません。